

報告事項ア

平成30年度鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査結果（得点状況等）について

平成30年度鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査結果（得点状況等）について、別紙のとおり報告します。

平成30年4月18日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

平成30年度鳥取県立高等学校
入学者選抜学力検査における得点状況

鳥取県教育委員会

平成30年度鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査における得点状況

1 教科別得点の平均点及び総得点の平均点(全日制課程)

年 度	国語	社会	数学	理科	英語	総得点
平成30年度	29.9	30.4	24.6	28.6	27.7	141.2

平成30年度入学者選抜学力検査5教科受検者数 3,421人

各教科50点満点、合計250点

(参考) 過去10年間

年 度	国語	社会	数学	理科	英語	総得点
平成29年度	28.3	27.6	27.4	31.4	29.1	143.8
平成28年度	27.9	27.4	25.2	30.6	30.3	141.3
平成27年度	29.6	33.4	26.4	27.2	28.9	145.5
平成26年度	25.6	24.9	28.5	26.7	30.7	136.3
平成25年度	23.5	27.1	27.5	25.2	27.1	130.5
平成24年度	25.3	30.0	22.8	29.2	26.6	133.9
平成23年度	24.9	29.1	23.2	29.1	26.8	133.1
平成22年度	29.1	30.2	26.5	25.4	22.2	133.3
平成21年度	25.2	24.9	29.5	23.2	23.7	126.6
平成20年度	25.2	27.8	21.2	25.5	31.1	130.7

<学力検査得点状況に見られる傾向>

国語・・・例年に比べて、大問ごとの文章や資料の分量は増加したが、それぞれの話題や設定が受検生にとって身近なものであったため、取り組みやすい検査問題となったと考えられる。複数の資料を関連させて答える問題の正答率がやや低かったが、基礎的な言語事項や限定された部分の読み取り問題の正答率は概ね高かったことなどから、平均点が高くなったと考えられる。

社会・・・基礎的・基本的な知識、概念や技能の習得を問う問題や、習得した知識をもとに資料を読み解いた上で答える問題を中心に出题した。基礎的・基本的な知識、概念や技能の習得に関する内容については正答率が高く、習得した知識をもとに資料を読み解いた上で答える問題の正答率が低かった。地理的分野の正答率が高かったため、昨年より平均点が高くなったと考えられる。

数学・・・各学年・各領域から基礎・基本を中心にバランスよく出题するとともに、全国学力・学習状況調査において課題が見られた問題を出題した。反比例の関係、素数の理解、小数や割合の計算、三平方の定理を活用する問題において誤答率・無答率が高かったため、昨年度より平均点が低くなったと考えられる。

理科・・・様々な分野の基礎的・基本的知識の理解度を問う問題から、実験・観察の結果や問題文中の条件を読み取り、それをもとに考察(計算も含む)する問題を出題した。正しい実験方法を選択する問題や気象現象を説明する問題等の正答率が低かったため、昨年度より平均点が低くなったと考えられる。

英語・・・測りたい力を明らかにした問題構成とし、基礎基本の定着度を確認するだけでなく、それらを活用して思考し、判断し、表現する力を問うた。直接的な情報収集や内容理解では正答率が概ね高かったが、得られる情報を条件にあわせて編集したり、話し手や読み手の意向を主体的に理解して解答したりする問題での正答率は低調であった。表現の適切さに課題のある答案が散見され、英語を介して解答する問題比率が上昇したこともあり、昨年度よりやや低い平均点になったと考えられる。

2 各教科及び総得点における得点分布(全日制課程)

【各教科における度数分布】

(人)

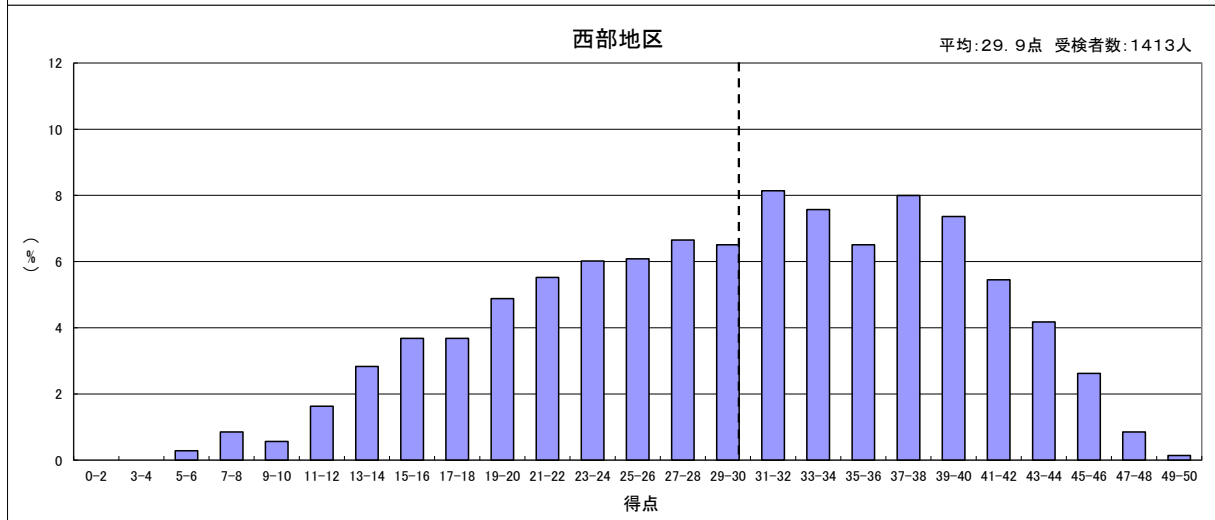
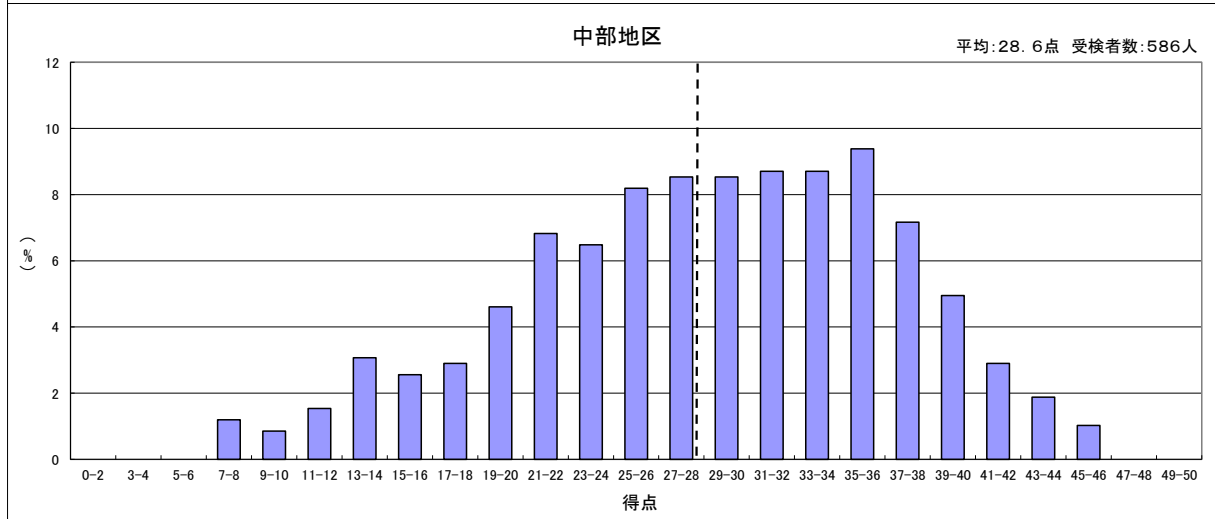
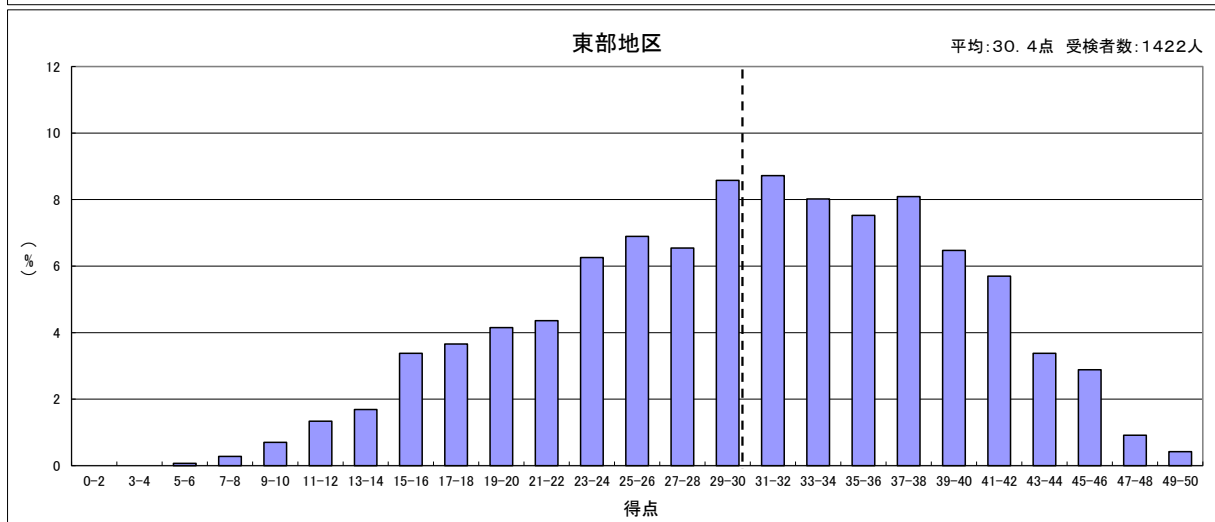
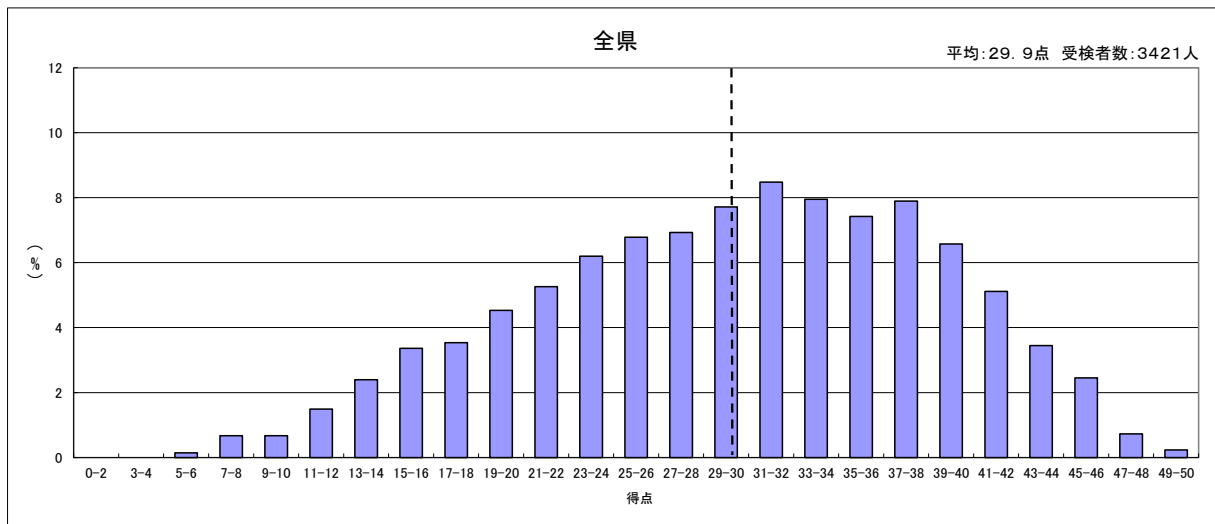
得点	教科	国語	社会	数学	理科	英語	
0	～	2	0	1	22	2	19
3	～	4	0	3	50	11	47
5	～	6	5	8	77	24	122
7	～	8	23	19	85	51	141
9	～	10	23	41	111	77	138
11	～	12	51	50	130	104	120
13	～	14	82	84	149	143	159
15	～	16	115	105	165	123	138
17	～	18	121	171	170	172	128
19	～	20	155	172	169	153	156
21	～	22	180	184	194	192	122
23	～	24	212	218	235	171	120
25	～	26	232	216	280	189	143
27	～	28	237	212	256	217	130
29	～	30	264	214	262	175	134
31	～	32	290	210	269	214	127
33	～	34	272	222	241	229	153
35	～	36	254	201	196	220	150
37	～	38	270	204	140	235	193
39	～	40	225	225	96	220	210
41	～	42	175	198	54	190	225
43	～	44	118	202	43	156	204
45	～	46	84	128	11	105	178
47	～	48	25	92	13	38	118
49	～	50	8	41	3	10	46
受検者数		3,421	3,421	3,421	3,421	3,421	

【総得点における度数分布】

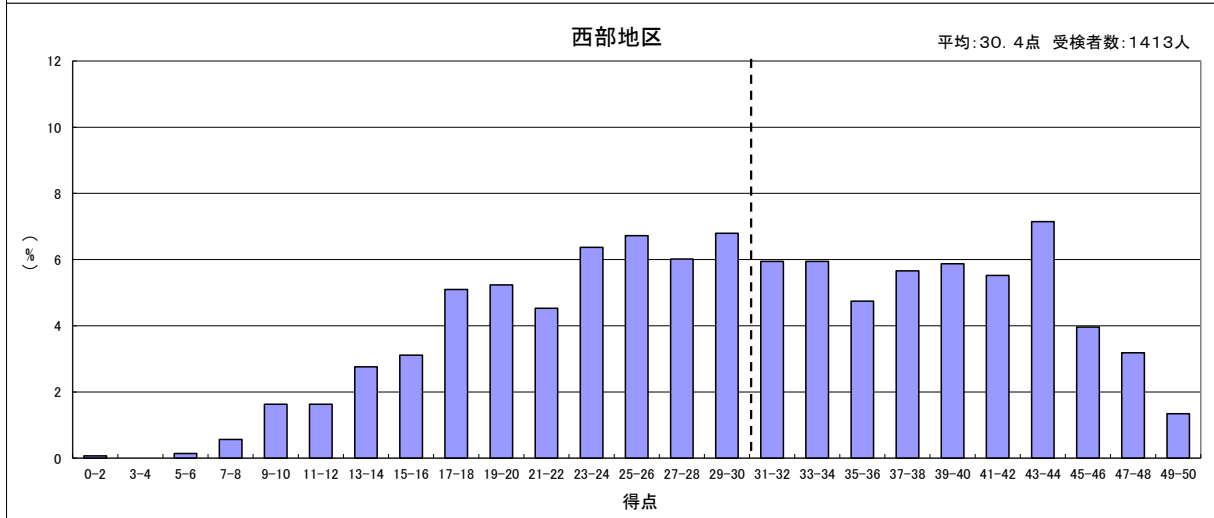
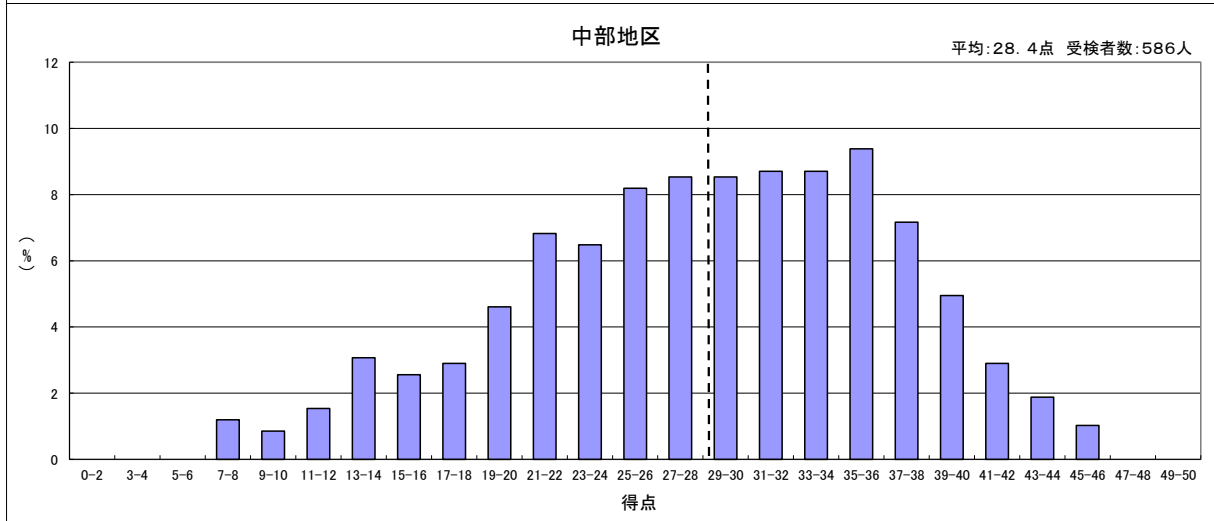
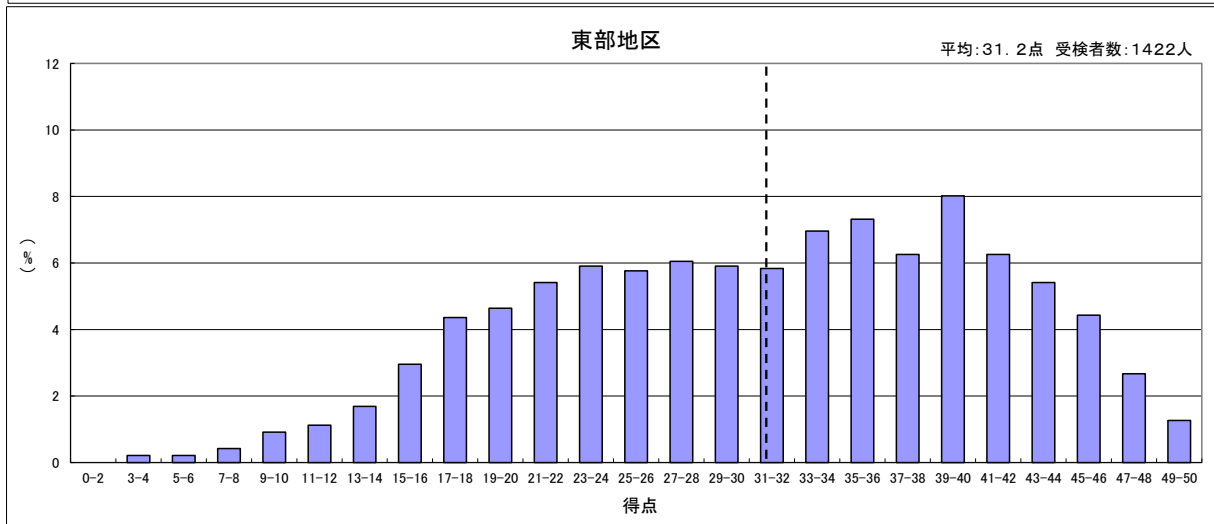
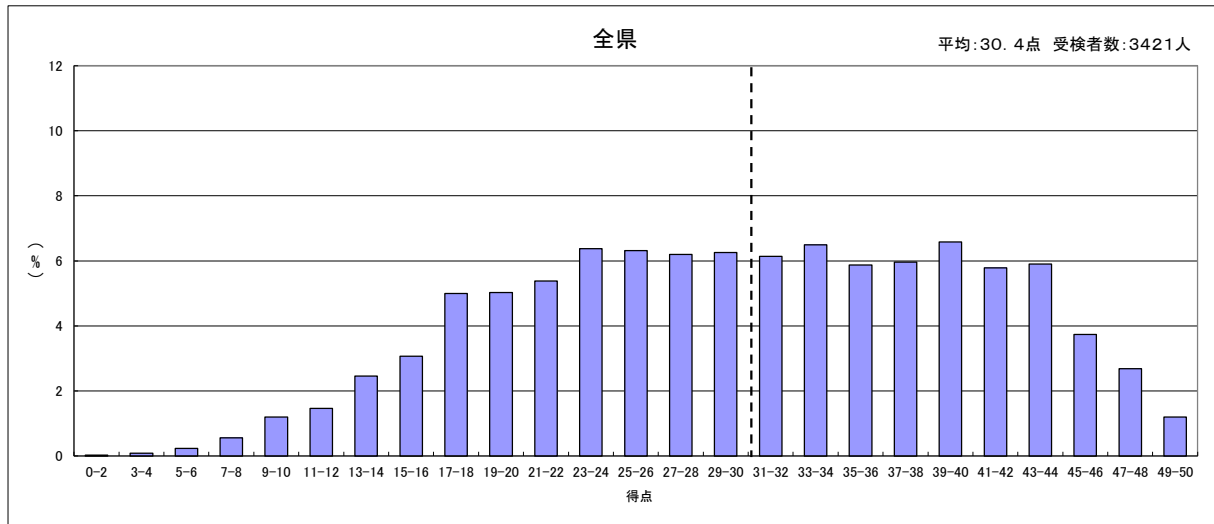
総得点	人数		
0	～	5	0
6	～	10	0
11	～	15	0
16	～	20	1
21	～	25	3
26	～	30	7
31	～	35	10
36	～	40	17
41	～	45	15
46	～	50	30
51	～	55	41
56	～	60	47
61	～	65	49
66	～	70	74
71	～	75	73
76	～	80	67
81	～	85	65
86	～	90	94
91	～	95	108
96	～	100	98
101	～	105	102
106	～	110	99
111	～	115	101
116	～	120	105
121	～	125	100

総得点	人数		
126	～	130	113
131	～	135	119
136	～	140	93
141	～	145	90
146	～	150	104
151	～	155	102
156	～	160	146
161	～	165	106
166	～	170	117
171	～	175	112
176	～	180	128
181	～	185	145
186	～	190	127
191	～	195	117
196	～	200	138
201	～	205	94
206	～	210	89
211	～	215	65
216	～	220	38
221	～	225	31
226	～	230	25
231	～	235	7
236	～	240	9
241	～	245	0
246	～	250	0
受検者数		3,421	

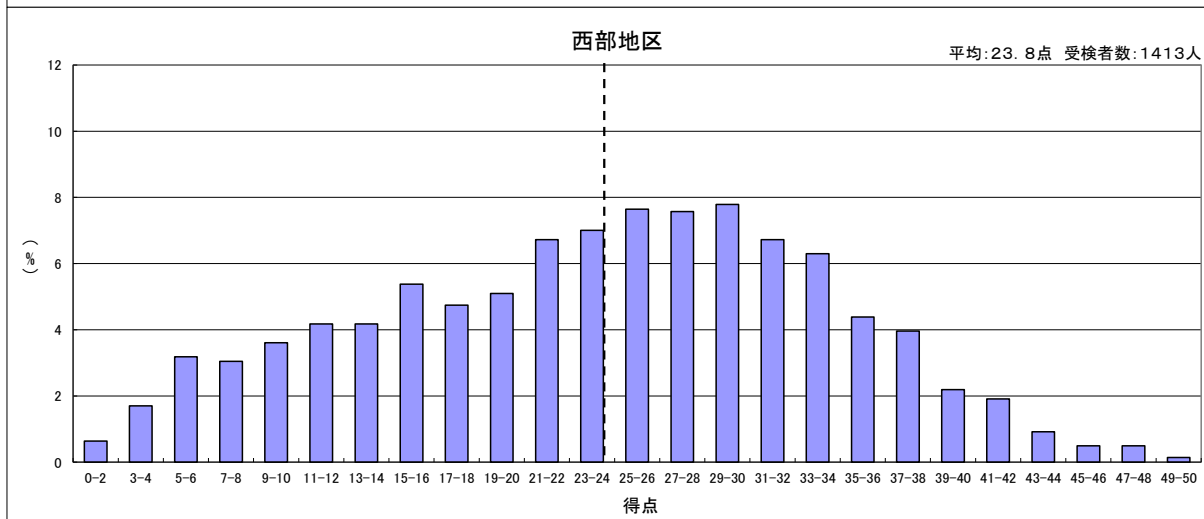
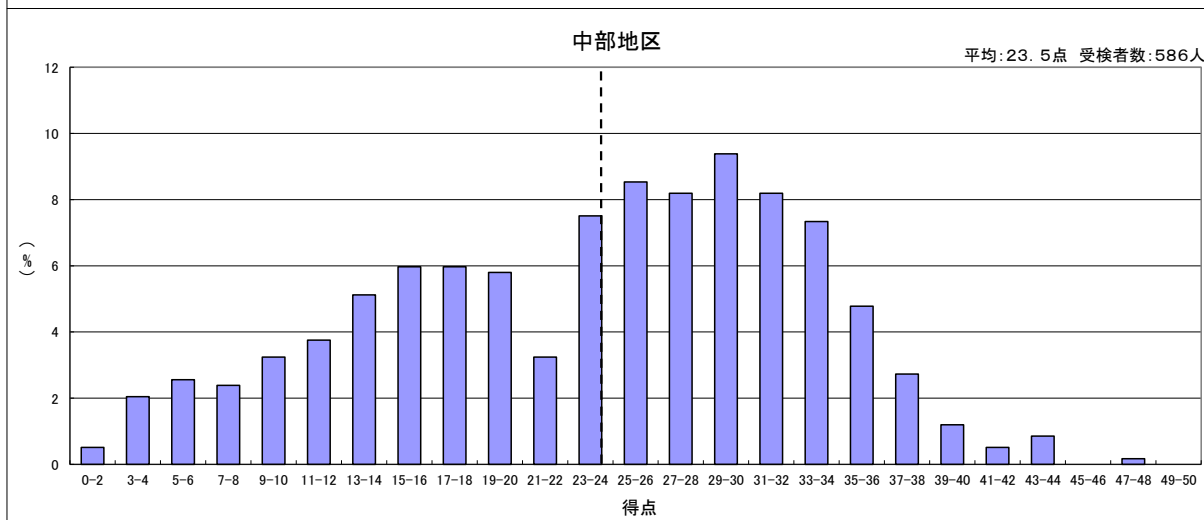
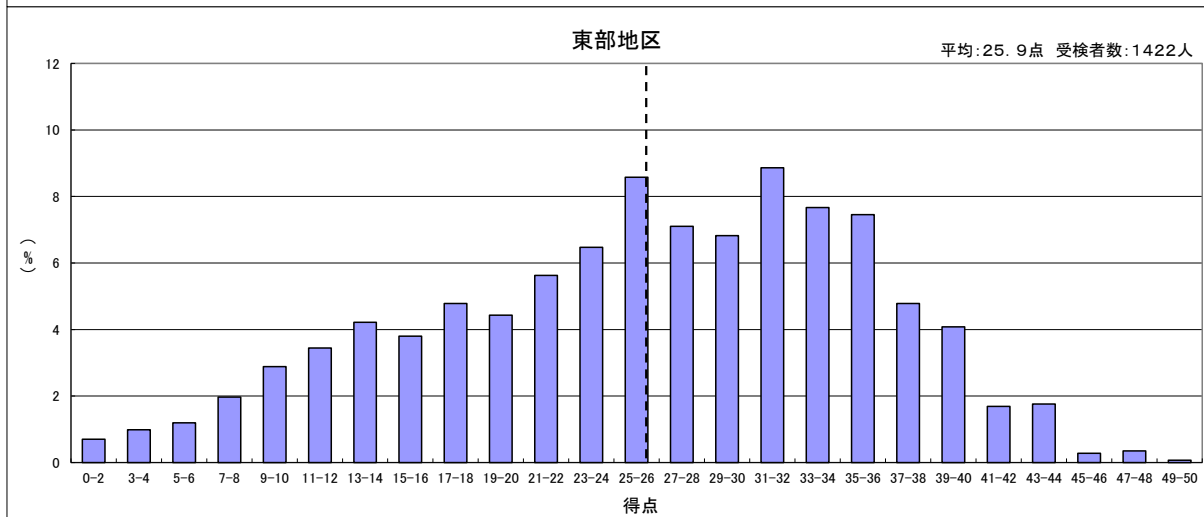
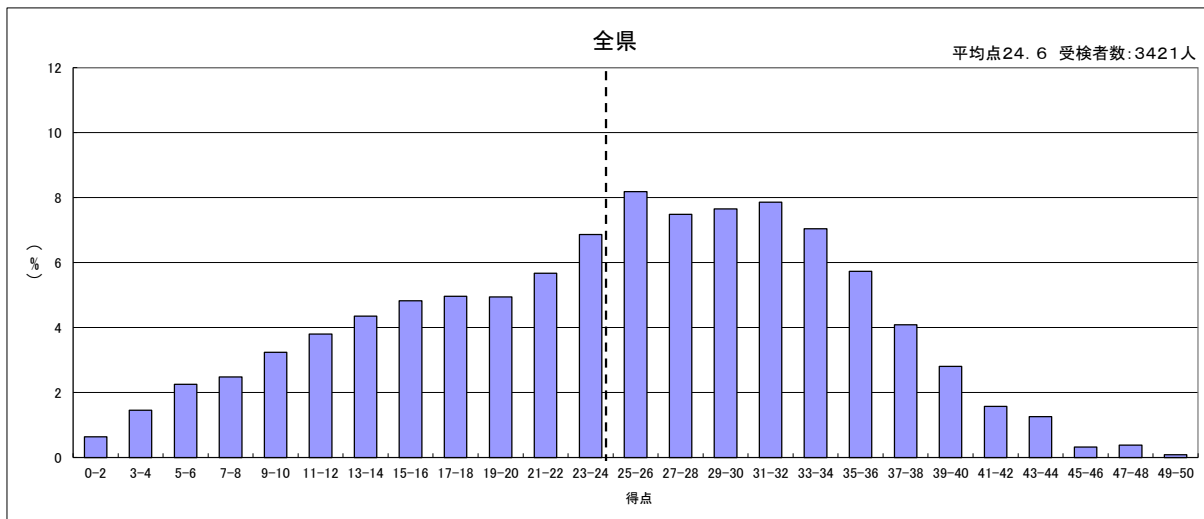
平成30年度 入学者選抜学力検査における得点状況【国語】



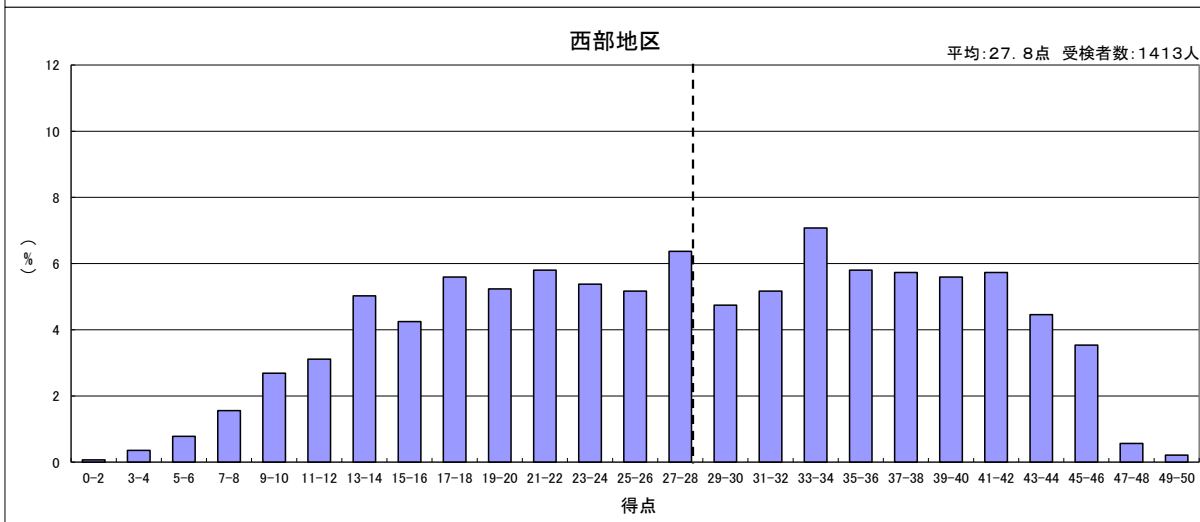
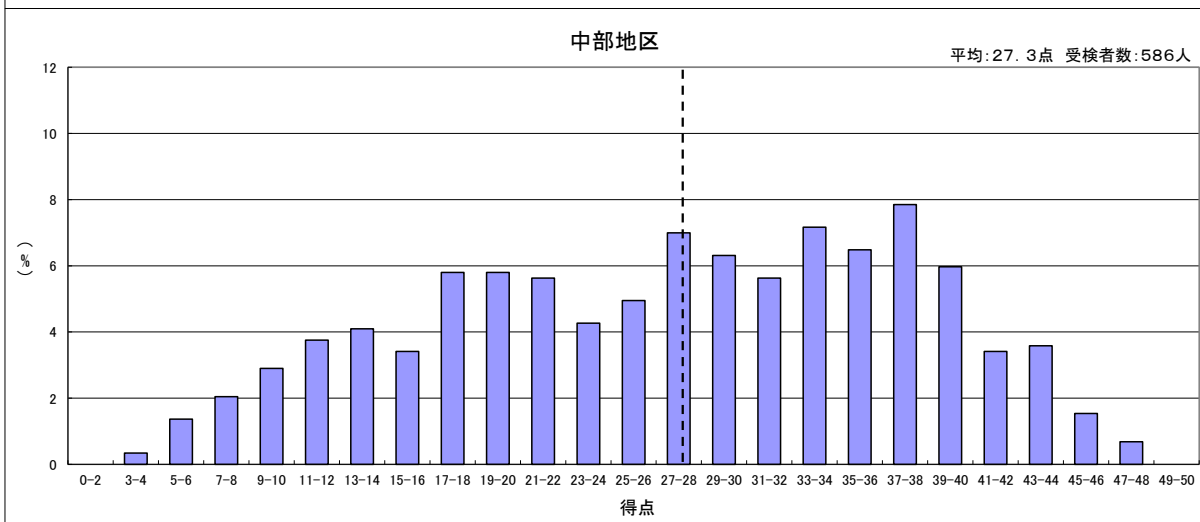
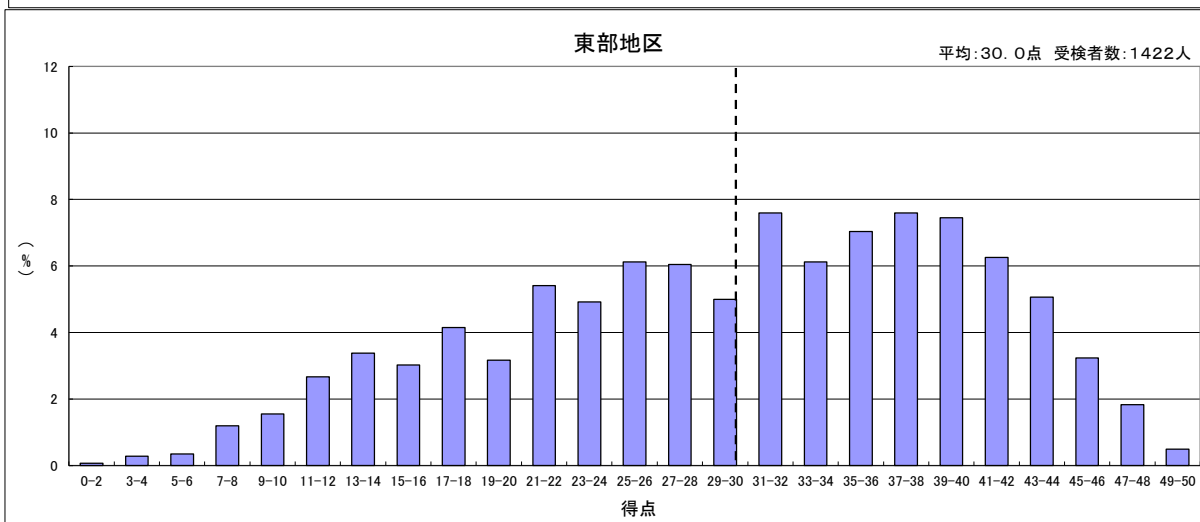
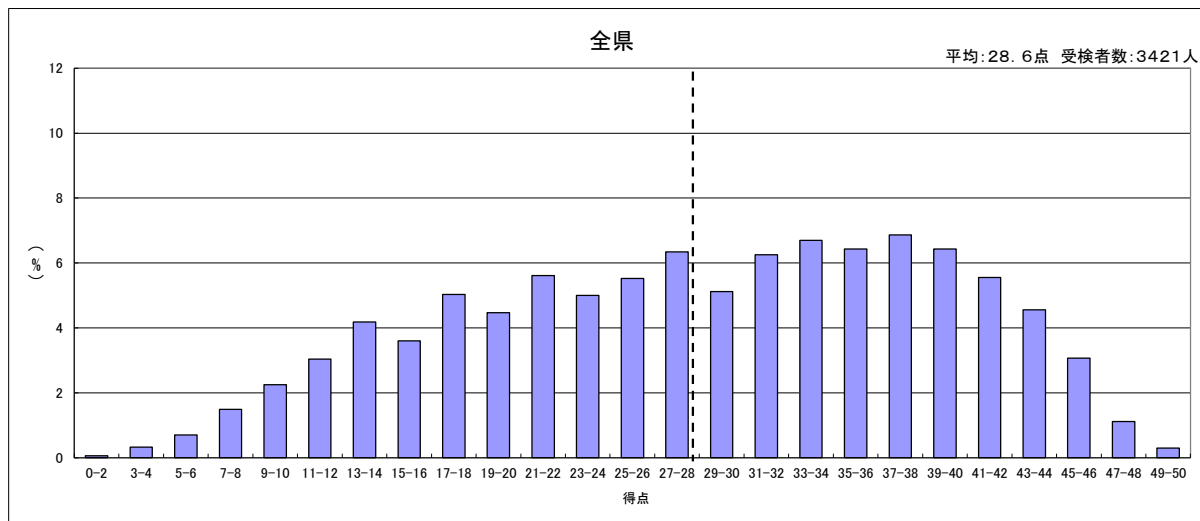
平成30年度 入学者選抜学力検査における得点状況【社会】



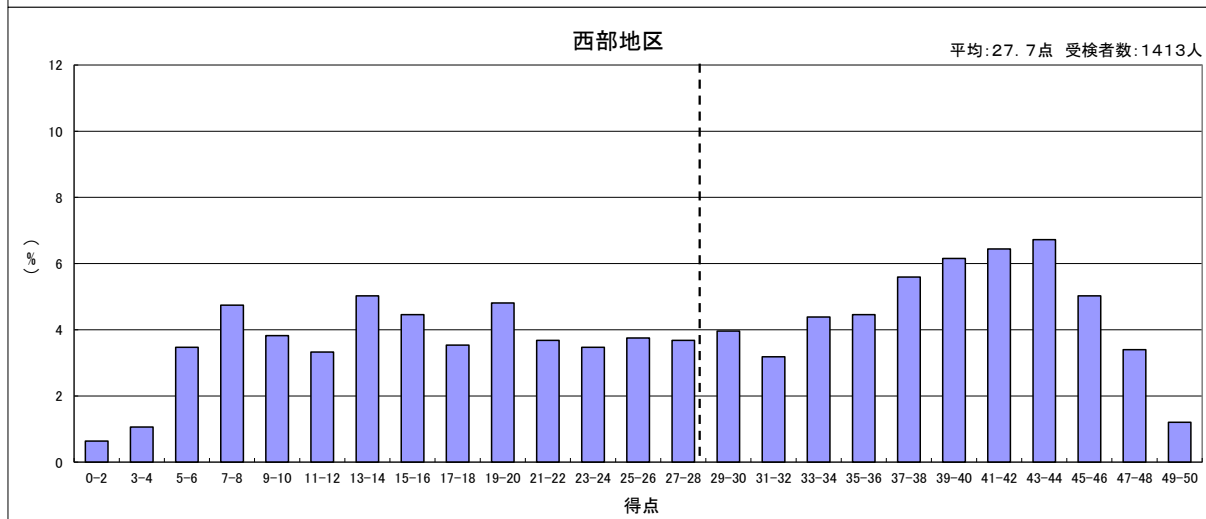
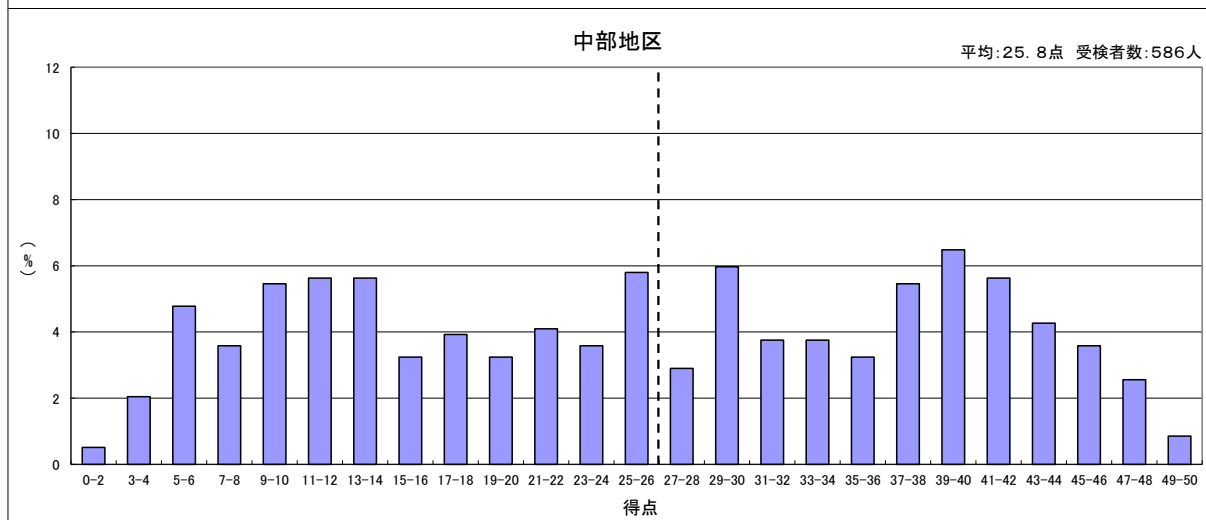
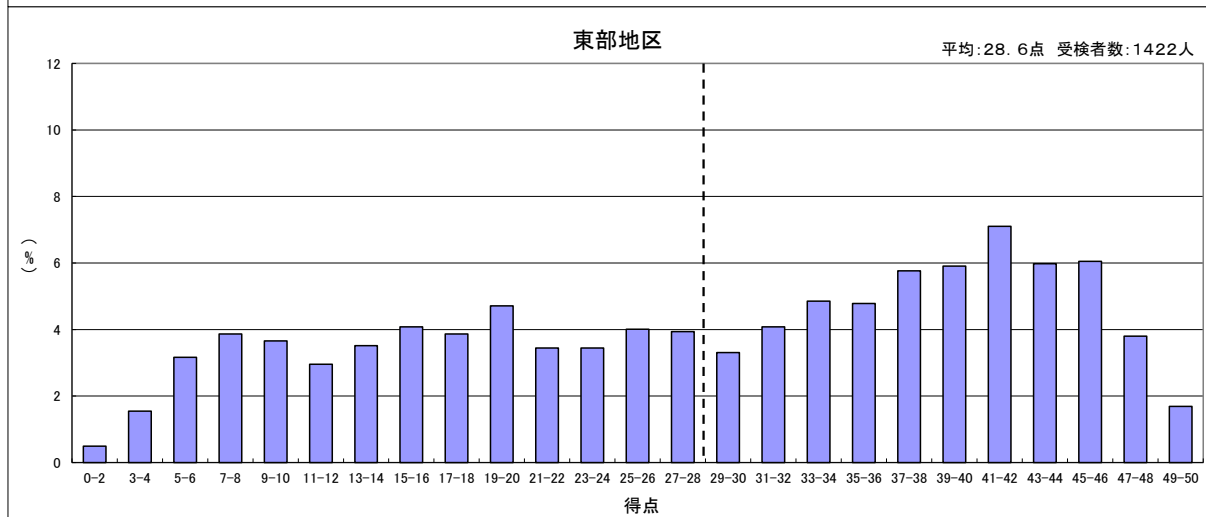
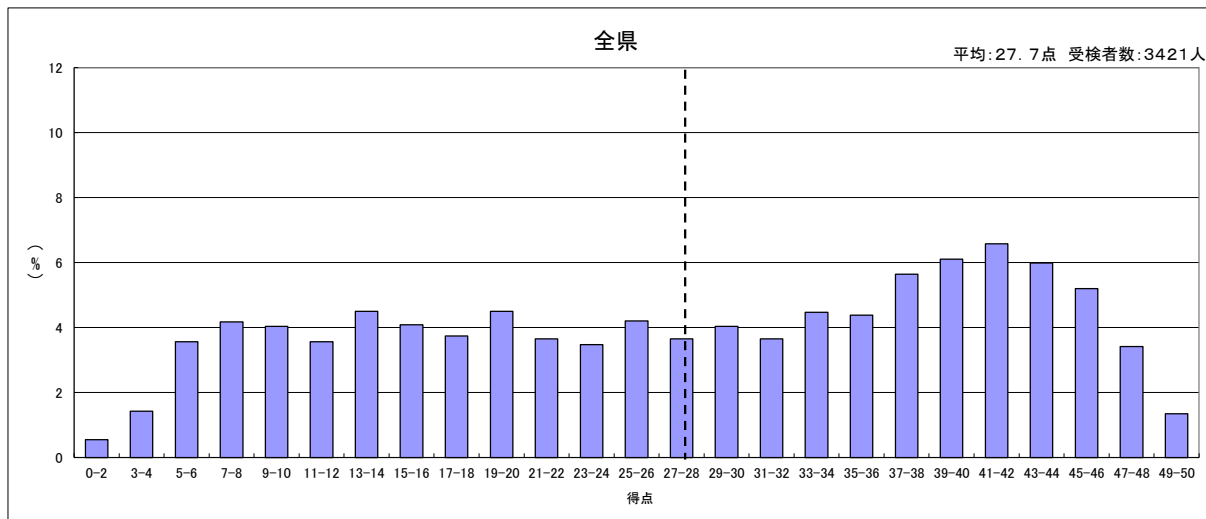
平成30年度 入学者選抜学力検査における得点状況【数学】



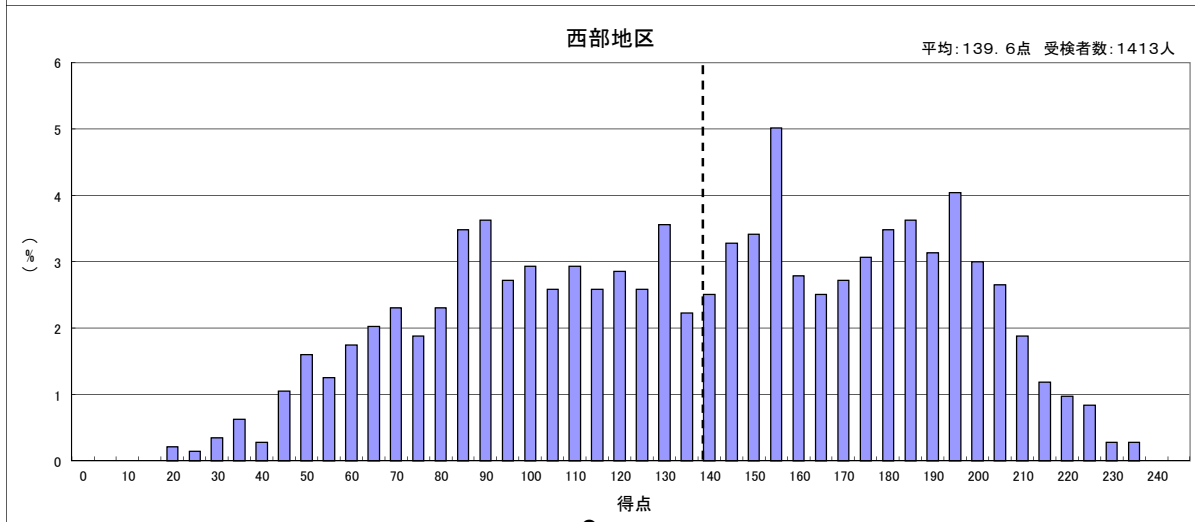
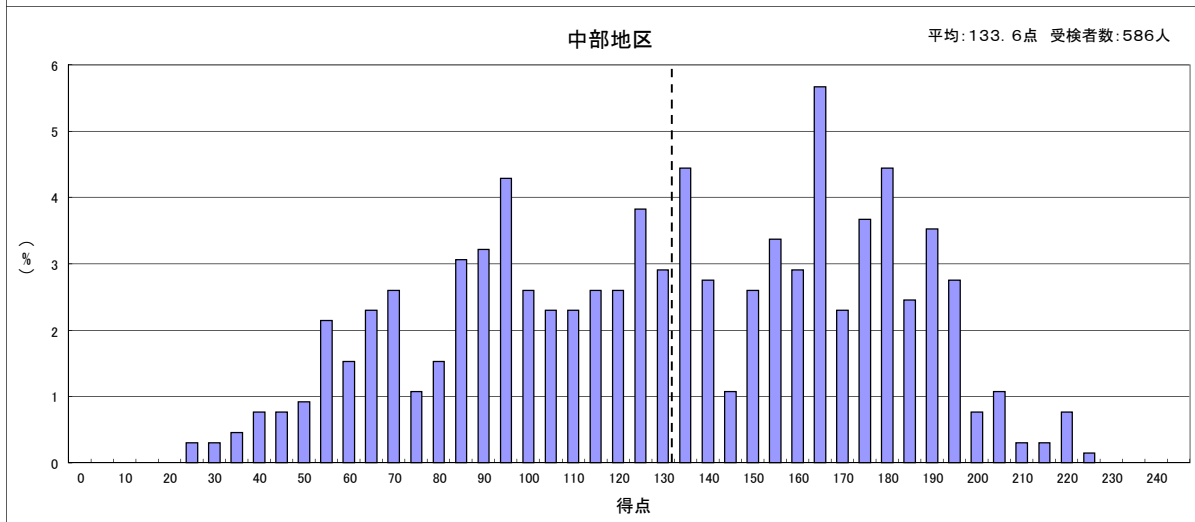
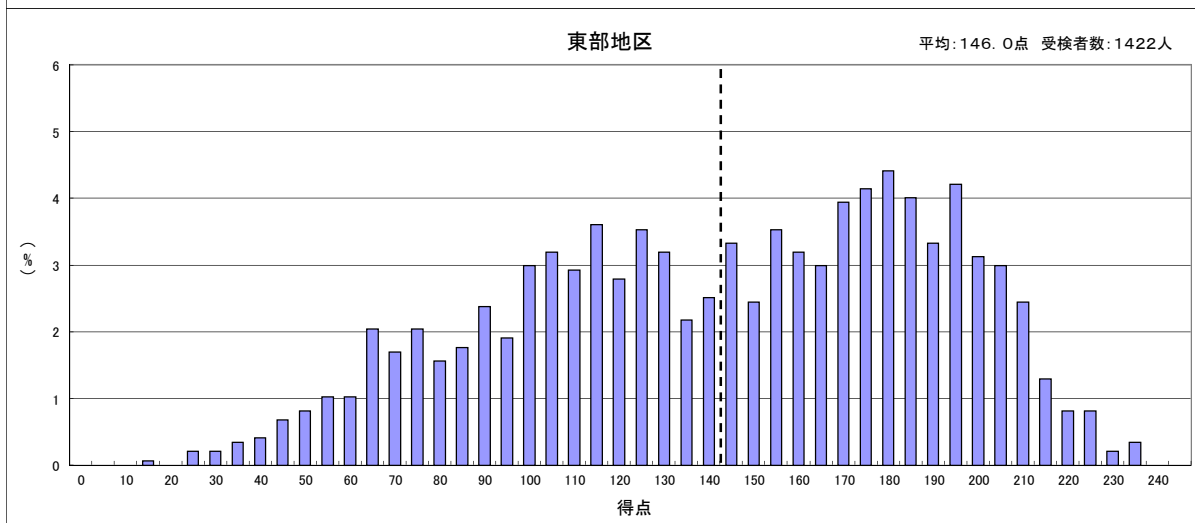
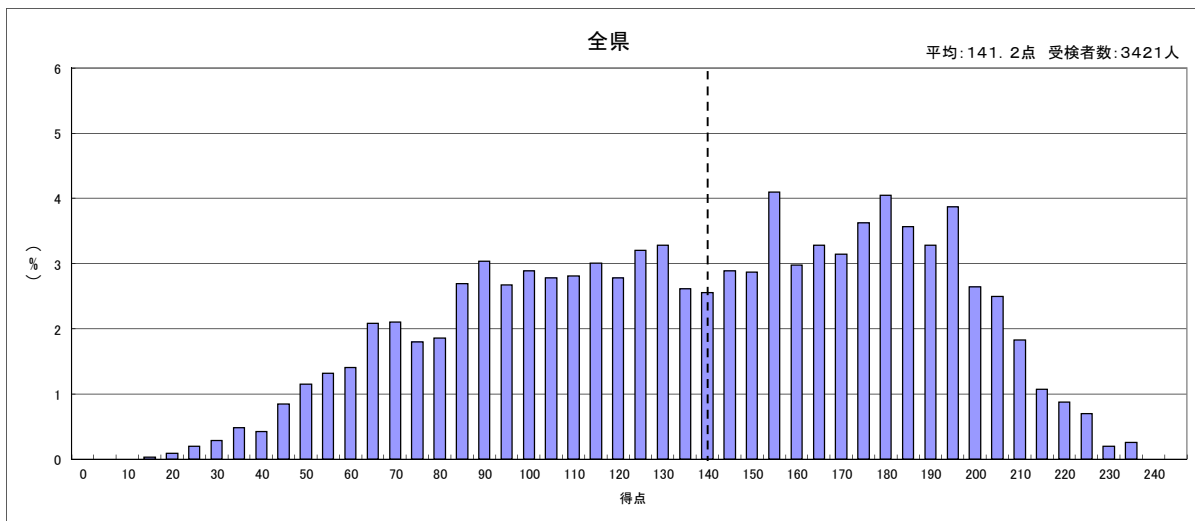
平成30年度 入学者選抜学力検査における得点状況【理科】



平成30年度 入学者選抜学力検査における得点状況【英語】



平成30年度 入学者選抜学力検査における得点状況【総得点】



平成30年度鳥取県立高等学校
入学者選抜学力検査分析

鳥取県教育委員会

《 考 察 》

【 国 語 】

国語については、基礎的・基本的な言語事項を問う問題から応用的な問題まで幅広く出題した。基礎的・基本的な言語事項の正答率は概ね高く、知識的要素は概ね身につけている。ある程度まとまりのある文章の内容を大まかにつかむ力は身につけているが、複数の資料から目的に応じて必要な情報を読み取ったり、読み取った情報を与えられた条件に従って的確に表現したりする力は不足していることがうかがえた。日頃の学習において、文章全体と部分との関係や文章の構成に着目しながら文章を解釈しようとする態度を育成する必要がある。また、複数の資料をもとにそれらに関連づけながら情報を読み取り、情報と情報の関連を考えて再構築する学習活動を取り入れたい。

【 社 会 】

社会については、基礎的・基本的な知識、概念や技能の習得を問う問題、習得した知識をもとに資料を読み解いた上で答える問題を中心に出題した。基礎的・基本的な知識、概念や技能の習得に関する内容については正答率が高かった。一方で、習得した知識をもとに資料を読み解いた上で答える問題の正答率が低かった。既習の知識を活用しながら深く学ぶことや、考察したことを適切に表現することが課題になっていると考えられる。特に、歴史的分野(近現代)、公民的分野において、日常の社会生活と関連付けながら現代社会の見方・考え方を養うことが重要である。また、多角的・多面的に考察し表現する力を育成するために、地理、歴史、公民の各分野を関連付けた学習や他教科とのつながりを意識した教科横断的な学習がより一層求められる。

【 数 学 】

数学については、基本的事項を問う問題や全国学力・学習状況調査において課題が見られた問題を多く出題するとともに、表・図・グラフを活用して課題を解決する問題及び思考の過程を記述する問題を出題した。基本的な計算や単純に数値を求める問題は正答率が高かったが、問題文などから複数の条件を把握して処理する問題や考察過程を数学的に表現する問題では、問題の難易にかかわらず誤答率及び無答率が高かった。これは、問題にある条件と複数の既習事項を組み合わせる問題において、問題文を正確に把握した上で補助線を引く、表を作る、条件に合わせてグラフや図を描くなど、具体的な操作をとおして論理的に問題をとらえる力に課題があると考えられる。数式だけでなく、生徒同士で表や図、グラフなどを活用して表現したり、説明しあったりする力を育成していくことが重要である。

【 理 科 】

理科については、基礎的・基本的知識の理解度を問う問題から、実験・観察の結果や問題文中の条件を読み取り、それをもとに考察(計算も含む)する問題まで幅広く出題した。重要語句や基本的な知識の理解度を問う問題は正答率が高く、無答率も低かった。しかし、観察・実験の結果を分析・解釈し、その結果の考察を説明する問題や、複数の要素を合わせた計算、化学反応式の問題では正答率が低く、無答も多くみられた。また、未知物質を特定するための実験方法を選択する問題でも正答率が低かった。平素の授業において、班で協力しながら実験や観察を進めたり、レポート発表に対して質問したりする場面を設定するなど、「見通しを持って実験を計画し、実行する」「他者との対話を通して、より深い考察をする」ことについて意識した授業を実施し、科学的な思考力・判断力・表現力の育成を目指した指導の工夫が必要である。

【 英 語 】

英語については「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の3つの領域を中心に、知識や技能の定着に加え、それらを活用した思考力、判断力、表現力等を測るために、実生活で見られる会話やまとまりのある文章を題材に出題した。求める情報を直接的に聞き取ったり読み取ったりする問題の正答率は高かったが、得られる情報を求められている条件にあわせて編集して解答する問題や、解答が直接的には述べられていない問題での正答率は低かった。さらに、習熟度が高いと思われる定型句や典型表現が適切に記述できていない答案も散見された。今後は、平素の指導の中で、話し手や書き手の意向を理解しようとする態度を育成し、得られる情報を組み合わせることで考察し、適切に表現する指導の充実が必要である。あわせて、生徒にとって必然性のある言語活動を授業にふんだんに取り入れながら、場面に応じて英語で適切にやり取りしたり、初歩的な英語を用いて自分の経験や考えを相手に正しく伝えたりする指導をとおして、表現力を育成し続けていきたい。

【出題の基本方針】

- 1 国語の基礎的・基本的事項についての知識を問うとともに、目的や場面に応じて話すことについて、その理解力をみる。
- 2 文学的な文章を読むことを通して、文章に描かれた場面、心情、表現の特色などを的確に読み取る力や読み取った内容を与えられた条件に従って表現する力をみる。
- 3 論理的な文章を読むことを通して、筆者のものの見方や考え方、論の展開を的確に読み取る力や読み取った内容を与えられた条件に従って表現する力をみる。
また、与えられた条件に従い、目的に応じて資料から必要な情報を読み取り、根拠を明確にして、自分の考えを文章にまとめる力をみる。
- 4 古典を読むことを通して、伝統的な言語文化に関する事項や記述された内容について、理解する力をみる。

【結果の概要】

- 1 問題一は、小問集合形式による出題とし、基礎的・基本的事項及び話すことについて理解する力をみた。漢字の読み、書写に関する問題の正答率は高く、中学校での学習指導の定着がうかがえた。しかし、表現内容や文章の構成を理解し、解答条件をふまえて適切に表現する力が求められる問題の正答率は低かった。生活の中の様々な場面や状況に応じて、多様な語句を適切に使うことができるように、日頃の学習活動において多様な語句・語彙指導の工夫が必要である。
- 2 問題二は、文学的文章とし、場面、心情、表現の特色等を的確に読み取る力を問う問題構成とした。平易な文章で受検生にとって親しみやすい内容であり、場面の状況理解は概ねできていたが、文脈にそって正確に読み取る力や問われていることに対して的確に表現する力が求められる問題の正答率は高くなかった。また、複数の資料から目的に応じて必要な情報を読み取る力が不足していることもうかがえた。日頃の学習において、言葉を手掛かりにしながら文脈をたどり、視点を定めて読む学習活動や、複数の資料をもとにそれらを関連づけながら情報を読み取り、情報と情報の関連を考えて再構築する学習活動を取り入れたい。
- 3 問題三は、説明的文章とし、筆者の論の展開、表現内容を理解する力を問う問題構成とした。受検生にとって身近なネット社会をテーマにした文章であり、本文全体の読み取りは易しかったと思われる。限定された部分を読み取る力をみる問題の正答率は高かったが、文章全体の構成をふまえて読み取る力をみる問題の正答率は高くなかった。日頃の学習の中で、文章全体と部分との関係や文章の構成に着目しながら文章を解釈しようとする態度を育成する必要がある。
- 4 問題四は、古典の出題とし、古文の基本的な知識や内容を理解する力をみた。歴史的仮名遣いの問題は例年に比べ正答率が低かった。歴史的仮名遣いに関する知識だけでなく、古文を音読して古典特有のリズムに慣れ親しむ態度を一層育てたい。また、文脈を理解した上で答える問題はやや正答率が低かった。日頃の学習において、現代語訳や解説した文章などを適切に取り上げつつ、古典としての古文や漢文に、より一層親しむ態度を育てたい。

《 社 会 》

【出題の基本方針】

- 1 世界と日本の地理的事象について、地図、グラフなどの資料をもとに、その地域的特色を考察する地理的な見方・考え方が身につけているかをみる。
- 2 日本の歴史における各時代の特色や事柄を、年表や図などの資料をもとに多面的・多角的に考察し、歴史の大きな流れなどを大観して、総合的に理解しているかをみる。
- 3 日本の政治や経済、国際社会の基本的なしくみを理解し、社会的事象について今日の生活とのかかわりの中で考えて判断し、表現する力をみる。

【結果の概要】

- 1 問題1は、地理的分野に関する出題とした。基礎的・基本的な知識、概念を問う問題の正答率が高く、特に問3(4)《ハザードマップ》の正答率が8割を超すなど、防災に関する学習の充実が感じられる。また、問2(3)《農業の工夫》については、正答率が7割を超え、資料を適切に読み解き表現する技能の伸長も見られた。一方、問1(5)《世界の気候帯》、問2(1)《日本の農業》のように数値を表から読み取る形式の問題では正答率が伸びず、グラフのように視覚化されていない資料に対する読み取りの力を養う必要がある。今後も地理的な見方・考え方の基礎を養うため、現在の社会動向にも関心を持たせながら、基礎的・基本的な知識、概念や技能の習得を図っていくことが求められる。特に、多様な資料を読み解く技能を身につけさせることが重要となる。
- 2 問題2は、歴史的分野に関する出題とし、問1は古代から近代、問2は近世から現代までの歴史を出題した。問1(1)《奈良時代の都》、(3)《建武の新政》、問2(1)《江戸時代の政策》などは正答率が高く、政治史についての知識の定着が見られるものの、問1(5)《江戸時代の経済》、問2(2)《近代の外交》、(5)《近現代の景気動向》は正答率が伸びず、経済や外交に関する知識の習得に課題が見られる。また、問2(4)《参政権の拡大》の正答率が3割を下回っており、我が国の歴史の大きな流れを理解させる学習を重視するとともに、近現代史の学習を一層充実させ、日常の社会生活と関連付けながら現代社会の見方・考え方を養うことが重要である。
- 3 問題3は、公民的分野に関する出題とした。問1(2)①②《為替相場・円安》の正答率が4割程度、問3(2)《EU》の正答率が3割程度と低かった。また、問2(3)《衆議院議員選挙》の正答率が2割強と低く、選挙制度の名称や国民審査についての知識はあるものの、知識を活用して適切に表現する力に課題が見られる。今後は、現在の国際情勢や経済についての関心を高め、現代社会の見方・考え方の基礎を育成するとともに、社会の形成に参画する態度を養うことが重要となる。公民的分野に関する知識を習得するだけでなく、様々な資料を適切に収集した上で多面的・多角的に考察し、事実を正確にとらえ、公正に判断する力を養うことが大切である。
- 4 「学習した知識や技能を活用しながら、資料を読み解いた上で答える問題」を多く出題した。総合的にみると、三分野とも基礎的・基本的な知識の習得が図られていると思われる。一方で、問われていることを把握する力、資料を読み解いた上で考察する力、考察したことを適切に表現する力について課題が見られた。今後も、主権者教育や国際情勢等の社会の出来事や動向と関連させながら、「公民的資質の基礎」を養うために、小学校からの学びを踏まえた学習の充実を図ることはもちろんのこと、他教科で身につけた能力も積極的に活用しながら授業づくりをすることが求められる。

《 数 学 》

【出題の基本方針】

- 1 各学年の学習内容について、基礎的・基本的事項の理解度及び計算力・表現力をみる。
- 2 基本的な概念や原理・法則を活かして、見通しをもって課題を分析し、処理する力をみる。
- 3 数学的な見方や考え方を活用して、対象を論理的に考察し、課題を解決する力をみる。
- 4 日常生活における題材について、数理的に考察し、処理する力をみる。

【結果の概要】

- 1 問題 1 は小問集合とし、各学年で学習する基礎的・基本的事項の理解度及び基本的な計算力を見る問題を出題した。問 5 までは概ね正答率が高く良好な結果であったが、全国学力・学習状況調査の課題である反比例の関係を見つけることや素数の意味を理解すること、また、等式の変形、回転体の体積を求めること、三角形の合同に関する証明で誤答率が高かった。基本的な用語の理解や、数学的根拠に基づいて考察・論証する力の育成が重要である。
- 2 問題 2 は、反復横とびの結果について考察する問題とした。昨年度に続き最頻値を求める問題を出題したが、正答率は昨年度を下回った。また、相対度数（割合）の計算やグラフの読みとりに課題が見られ、代表値の必要性と意味及び求め方を正しく理解したり、様々なグラフから資料の傾向を読みとり説明したりする数学的活動の充実が必要である。
- 3 問題 3 は、文化祭を題材にした数と式に関する問題とし、全国学力・学習状況調査の課題である小数の計算や割合を含む計算を出題した。数量の関係を方程式及び不等式で表現する能力を一層培い、文字を用いた式の計算ができるようにする必要がある。また、思考の過程を論理的に記述する設問を引き続き出題した。自分の考えを説明したり、相手の説明を批判的に聞いたりする活動を通して、グラフや図の中から必要なものを適切に選択し考察するなど、思考力・判断力・表現力を伸ばす指導が重要である。
- 4 問題 4 は、二次関数と一次関数のグラフに関する融合問題とした。比例定数を求める問題は課題があるが、異なる 2 点を通る直線の方程式を求めることは改善傾向にある。また、平面図形との融合問題について、図形の性質に着目して考察することに課題もあり、複数の既習事項を組み合わせ考察したり、グループで意見や考えを出し合って理解を深めたりする数学的活動の充実も重要である。
- 5 問題 5 は、円錐の容器を題材にして立体図形を考察する問題とした。全体的に誤答率・無答率が高かった。三平方の定理などの既習事項を立体図形の中で活用し、立体を多角的に分析し論理的に考察する態度の育成が重要である。また、ICT を活用したり、実際に立体図形及び展開図を作成したりするなどの操作活動の充実も重要である。

《 理 科 》

【出題の基本方針】

- 1 自然の事物・現象について、基礎的・基本的な事項を理解し、知識が身についているかをみる。
- 2 自然の事物・現象の中に規則性・法則性を見いだすなど、科学的な見方や考え方ができているかをみる。
- 3 観察・実験で得た結果を処理し、総合的に考察して、自らの考えを表現する力が身についているかをみる。
- 4 身近な自然の事物・現象に興味・関心をもち、科学的に探究する態度が育っているかをみる。

【結果の概要】

- 1 問題1は、生物分野に関する出題とした。蒸散のしくみを調べる実験を通して、基礎的・基本的な知識と実験結果についての考察力をみる問題である。全体的に正答率が高く、基本的事項の定着が見られた。特に問2の重要語句を問う問題では正答率が87.7%と高かった。また、初見の実験データを読み取る問題でも正答率が高く、科学的な思考力・判断力の定着が見られた。
- 2 問題2は、化学分野に関する出題とした。塩酸の電気分解の実験を通して科学的な見方や考え方が身についているかをみる問題である。問2の10%の塩酸を薄めて2.5%の塩酸をつくるために必要な塩酸の質量を求める問題は正答率が28.2%、問3の塩酸を電気分解したときの化学変化を化学反応式で表す問題でも正答率が31.3%と低かった。水溶液の濃度や化学反応式の意味を的確に理解させ、活用できる力を育成する指導の工夫が必要である。
- 3 問題3は、物理分野に関する出題とした。音の性質を調べる実験を通して基本的知識の理解と科学的思考力をみる問題である。問2の音の速さを求める問題は正答率が36.4%、問4の音の振動数を求める問題でも正答率が36.9%と低かった。問2では、太鼓から校舎までの距離を2倍せずに計算した誤答が32.3%あった。実験結果を的確に処理する科学的な思考力を養う指導の工夫が必要である。
- 4 問題4は、地学分野に関する出題とした。実験結果から陸風・海風や季節風について考察する問題である。問3(3)の冬に大雪が降りやすい理由を季節風の性質と中国地方の地形から考察する問題では、正答率が14.9%と非常に低く、無答率が13.3%と高かった。身近な気象現象への関心を高めるとともに、気象現象が起こる理由を科学的に考察し表現する力を養う指導の工夫が必要である。
- 5 問題5は、物理分野に関する出題とした。電流の発生と利用に関する問題である。全体的に正答率が高く、おおむね良好であった。問5のLED電球と白熱電球のエネルギーの変換効率について考察させる問題でも正答率が76.4%と比較的高く、基本的な知識や科学的な思考力・判断力の定着が見られた。
- 6 問題6は、生物分野に関する出題とした。植物の無性生殖の特徴や遺伝のしくみについての理解度をみる問題である。問3(1)の無性生殖の遺伝子の組み合わせを問う問題では、基本的な問題であったが正答率は65.1%と低く、有性生殖の遺伝子の組み合わせとした誤答が32.3%あった。遺伝についての基本的な理解を深めるとともに科学的な思考力を育成する指導の工夫が必要である。
- 7 問題7は、化学分野に関する出題とした。未知の物質を特定するための実験についての問題である。問1(3)の物質Aを問う問題では、正答率が24.1%と非常に低く、加熱により二酸化炭素を発生する炭酸水素ナトリウムとした誤答が32.3%と正答よりも多かった。また、問2の物質B、Dを区別する実験方法を選択する問題では、正答率が5.6%と最も低かった。見通しを持って実験を計画し、実行する能力を育成する指導の工夫が必要である。
- 8 問題8は、地学分野に関する出題とした。日食の起こるしくみや地球と月の距離などについて科学的な見方や考え方が身についているかをみる問題である。おおむね基礎的・基本的な知識の定着は見られたが、問3の地球と月の距離を求める問題では、無答率が16.9%と最も高かった。地球や太陽の位置関係を的確に捉え、科学的な見方や考え方を働かせて思考する態度を養う指導の工夫が必要である。

《 英 語 》

【出題の基本方針】

- 1 「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」及び「書くこと」の各領域にわたる基礎的・基本的知識と、それを活用する力が身につけているかをみる。
- 2 日常生活の身近な事柄などについて、短い英語やまとまりのある英語を聞いて、情報を正確に聞き取ったり、話し手の意向などを理解したりする力をみる。
- 3 日常生活の身近な事柄などについて、初歩的な英語を用いて、自分の経験や考えなどを表現する力をみる。
- 4 まとまりのある英文を読んで、本文や会話の流れを理解したり、重要な情報を正確に読み取ったりする力をみる。
- 5 物語文を読んで、本文の展開や、登場人物の考えや気持ちなどを正確に読み取る力をみる。

【結果の概要】

- 1 問題1の「聞くこと」に関する問題では、求められる情報を直接的に聞き取る問題の正答率は高かったが、聞き取った情報を条件に合わせて編集し解答する問題の正答率は低かった。今後は、話し手の意向を主体的に理解しようとする態度を育成するとともに、聞き取った情報をもとに思考判断したり、それらを臨機応変に活用したりする力をつける言語活動の充実が必要である。
- 2 問題2の語彙及び文法運用に関する問題では、基礎的な表現や語句についての定着度は概ね良好であるが、定型句や典型表現であっても適切な語順で書くことができていない答案も見受けられた。教科書基本文レベルの表現や語句は、身近な場面設定による授業中の言語活動で、聞いたり、読んだり、話したりして、繰り返し触れながら習熟度を高め、適切な語順で書ける力をつけておく必要がある。
- 3 問題3は、従来の出題パターンを廃し、表現力を見る問題に特化した。英語の吹き出しをつけた4枚のイラストで場面と会話の流れを提示し、場面や話者の意図に応じた定型句や典型表現の運用力と、初歩的な英語を用いて自分の経験や考えを30語程度の英語で述べる表現力をみた（テーマ作文）。典型表現については、言えるだけでなく適切に書ける指導が、テーマ作文では、自分の考えや気持ち、事実などが相手に正しく伝わるように、語と語、文と文のつながりを注意して書く指導が、それぞれ必要である。
- 4 問題4の「読むこと」に関する問題では、鳥取県手話言語条例を題材に、鳥取県内の中学生とジャマイカからの留学生との会話をもとにした、グラフを含む読解問題を出題し、述べてある事柄や情報を正確に読み取る力を見た。事実に関する内容理解やグラフの読み取りなどでは高い正答率であったが、本文から得られる情報をもとに計算して答えを導いたり、文脈を把握し、話者の気持ちに沿った発話を作成したりする問題では低い正答率となった。授業において、文章から得られる情報を活用する言語活動の充実が求められる。
- 5 問題5の「読むこと」に関する問題では、鳥取の中学生が、アメリカ人のホームステイ受け入れ体験をとおして異文化理解を深めていく物語を題材に、本文の展開や登場人物の心情を、主体的な読解をとおして理解する力を問うた。段落および文章全体の主旨を理解する力、そして必要な情報を複数の段落から抽出して統合し、記述する力などに課題が見られた。平素の授業で、話し手や書き手の意向を理解しようとする態度を育成し、得られる情報を組み合わせ考察し、適切に表現する指導の充実が必要である。

平成30年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【国語】（答案数：195）

問題番号		内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率
問題一	問一	(1) 漢字の読み	記述	187	95.9%	0	0.0%	8	4.1%	0	0.0%
		(2) 漢字の読み	記述	189	96.9%	0	0.0%	5	2.6%	1	0.5%
		(3) 漢字の書き	記述	175	89.7%	0	0.0%	14	7.2%	6	3.1%
		(4) 漢字の書き	記述	100	51.3%	0	0.0%	75	38.5%	20	10.3%
	問二	語句の知識	記号	158	81.0%	0	0.0%	37	19.0%	0	0.0%
	問三	書写の知識	記号	192	98.5%	0	0.0%	3	1.5%	0	0.0%
	問四	漢文の知識	記号	119	61.0%	0	0.0%	76	39.0%	0	0.0%
	問五	(1) 内容の理解	記号	168	86.2%	0	0.0%	27	13.8%	0	0.0%
		(2) 内容の理解	記号	169	86.7%	0	0.0%	26	13.3%	0	0.0%
		(3) 表現の理解	記号	172	88.2%	0	0.0%	23	11.8%	0	0.0%
(4) 内容の理解		記述	19	9.7%	77	39.5%	84	43.1%	15	7.7%	
問題二	問一	語句の知識	記述	119	61.0%	0	0.0%	40	20.5%	36	18.5%
	問二	文法の知識	記号	120	61.5%	0	0.0%	74	37.9%	1	0.5%
	問三	内容の理解	記号	171	87.7%	0	0.0%	24	12.3%	0	0.0%
	問四	文脈の理解	記号	128	65.6%	0	0.0%	67	34.4%	0	0.0%
	問五	内容の理解	記述	40	20.5%	41	21.0%	91	46.7%	23	11.8%
	問六	表現の理解	記号	164	84.1%	0	0.0%	30	15.4%	1	0.5%
	問七	(1) 語句の知識	記号	169	86.7%	0	0.0%	26	13.3%	0	0.0%
		(2) 内容の理解	記号	70	35.9%	0	0.0%	122	62.6%	3	1.5%
		(3) 内容の理解	記述	37	19.0%	33	16.9%	87	44.6%	38	19.5%
問題三	問一	文脈の理解	記号	119	61.0%	0	0.0%	74	37.9%	2	1.0%
	問二	語句の知識	記号	123	63.1%	0	0.0%	71	36.4%	1	0.5%
	問三	内容の理解	記号	110	56.4%	0	0.0%	81	41.5%	4	2.1%
	問四	(a) 内容の理解	記述	170	87.2%	0	0.0%	12	6.2%	13	6.7%
		(b) 内容の理解	記述	100	51.3%	0	0.0%	64	32.8%	31	15.9%
	問五	内容の理解	記述	140	71.8%	7	3.6%	12	6.2%	36	18.5%
	問六	文章の構成	記号	106	54.4%	0	0.0%	82	42.1%	7	3.6%
	問七	内容の理解	記述	22	11.3%	61	31.3%	66	33.8%	46	23.6%
問八	目的に応じた表現	記述	44	22.6%	95	48.7%	40	20.5%	16	8.2%	
問題四	問一	歴史的仮名遣い	記述	107	54.9%	0	0.0%	68	34.9%	20	10.3%
	問二	内容の理解	記号	137	70.3%	0	0.0%	46	23.6%	12	6.2%
	問三	内容の理解	記号	100	51.3%	0	0.0%	80	41.0%	15	7.7%
	問四	内容の理解	記述	81	41.5%	0	0.0%	92	47.2%	22	11.3%
	問五	(1) 内容の理解	記述	26	13.3%	0	0.0%	113	57.9%	56	28.7%
		(2) 内容の理解	記号	76	39.0%	0	0.0%	99	50.8%	20	10.3%
(3) 内容の理解		記号	116	59.5%	0	0.0%	55	28.2%	24	12.3%	

平成30年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【社会】（答案数：195）

問題番号	内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率	
問題1	問1	1 赤道の位置	記号選択	176	90.3%	0	0.0%	19	9.7%	0	0.0%
		2 アジアの工業化	記号選択	120	61.5%	0	0.0%	75	38.5%	0	0.0%
		3 各国の工業	記号選択	110	56.4%	0	0.0%	85	43.6%	0	0.0%
		4 日本における外国人労働者	記号選択	114	58.5%	0	0.0%	81	41.5%	0	0.0%
		5 世界の気候帯	記号選択	103	52.8%	0	0.0%	92	47.2%	0	0.0%
	問2	1 日本の農業	記号選択	63	32.3%	0	0.0%	132	67.7%	0	0.0%
		2 果実の主要生産地	語句記述	171	87.7%	0	0.0%	24	12.3%	0	0.0%
		3 農業の工夫	説明	142	72.8%	7	3.6%	37	19.0%	9	4.6%
	問3	1 地形の名称	語句記述	148	75.9%	0	0.0%	38	19.5%	9	4.6%
		2 発電方法	語句記述	175	89.7%	0	0.0%	19	9.7%	1	0.5%
		3 雨温図	記号選択	108	55.4%	0	0.0%	87	44.6%	0	0.0%
		4 防災	語句記述	173	88.7%	0	0.0%	17	8.7%	5	2.6%
		5 人口ピラミッド	記号選択	136	69.7%	0	0.0%	59	30.3%	0	0.0%
	地理的分野			1,430	66.7%	7	0.3%	689	32.1%	19	0.9%
	問題2	問1	1 奈良時代の都	記号選択	146	74.9%	0	0.0%	49	25.1%	0
2 平安時代の文化			記号選択	138	70.8%	0	0.0%	57	29.2%	0	0.0%
3 建武の新政の時期			記号選択	124	63.6%	0	0.0%	71	36.4%	0	0.0%
4 時代の把握			並べ替え	102	52.3%	0	0.0%	93	47.7%	0	0.0%
5 江戸時代の経済			語句記述	105	53.8%	0	0.0%	61	31.3%	29	14.9%
6 明治時代の流通			説明	97	49.7%	35	17.9%	47	24.1%	16	8.2%
問2		1 江戸時代の政策	記号選択	153	78.5%	0	0.0%	42	21.5%	0	0.0%
		2 近代の外交	記号選択	91	46.7%	0	0.0%	104	53.3%	0	0.0%
		3 近代の民衆運動	語句記述	113	57.9%	0	0.0%	69	35.4%	13	6.7%
		4 参政権の拡大	記号選択・説明	53	27.2%	3	1.5%	128	65.6%	11	5.6%
		5 近現代の景気動向	記号選択	98	50.3%	0	0.0%	96	49.2%	1	0.5%
		6 戦後の外交	語句記述	142	72.8%	0	0.0%	43	22.1%	10	5.1%
歴史的分野			1,362	58.2%	38	1.6%	860	36.8%	80	3.4%	
問題3	問1	1 世帯割合の変化	記号選択	177	90.8%	0	0.0%	18	9.2%	0	0.0%
		2① 為替相場	語句記述	85	43.6%	0	0.0%	93	47.7%	17	8.7%
		2② 円安	記号選択	75	38.5%	0	0.0%	120	61.5%	0	0.0%
		3① 日本の税の分類	記号選択	144	73.8%	0	0.0%	50	25.6%	1	0.5%
		3② 公正な税負担	記号選択	147	75.4%	0	0.0%	47	24.1%	1	0.5%
	問2	1 三権分立	記号選択	154	79.0%	0	0.0%	40	20.5%	1	0.5%
		2 世論	語句記述	107	54.9%	0	0.0%	64	32.8%	24	12.3%
		3 衆議院議員選挙	説明	46	23.6%	26	13.3%	65	33.3%	58	29.7%
	問3	1 国際連合	語句記述	137	70.3%	0	0.0%	28	14.4%	30	15.4%
		2 地域統合	記号選択	61	31.3%	0	0.0%	133	68.2%	1	0.5%
		3 安全保障	語句記述	50	25.6%	0	0.0%	133	68.2%	12	6.2%
	公民的分野			1,183	55.2%	26	1.2%	791	36.9%	145	6.8%

平成30年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【数学】（答案数：195）

問題番号	内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率	
問題1	問1	(1) 正の数・負の数の計算	計算	191	97.9%		0.0%	4	2.1%		0.0%
		(2) 分数の計算（異符号の商）	計算	178	91.3%		0.0%	17	8.7%		0.0%
		(3) 平方根を含む式の計算	計算	178	91.3%		0.0%	12	6.2%	5	2.6%
		(4) 多項式の計算（差）	計算	169	86.7%		0.0%	23	11.8%	3	1.5%
		(5) 単項式の計算（乗・除）	計算	153	78.5%		0.0%	41	21.0%	1	0.5%
	問2	等式の変形	計算	76	39.0%		0.0%	95	48.7%	24	12.3%
	問3	因数分解	計算	154	79.0%		0.0%	36	18.5%	5	2.6%
	問4	二次方程式の解の公式	計算	151	77.4%		0.0%	34	17.4%	10	5.1%
	問5	円周角・中心角	計算	138	70.8%		0.0%	51	26.2%	6	3.1%
	問6	反比例の関係	選択	126	64.6%		0.0%	66	33.8%	3	1.5%
問7	三平方の定理・回転体の体積	計算	56	28.7%	7	3.6%	109	55.9%	23	11.8%	
問8	確率（2つのさいころ）	計算	68	34.9%	1	0.5%	119	61.0%	7	3.6%	
問9	文字式の利用	計算	107	54.9%		0.0%	79	40.5%	9	4.6%	
問10	図形の合同の証明	記述	52	26.7%	63	32.3%	40	20.5%	40	20.5%	
問題2	問1	最頻値	計算	164	84.1%		0.0%	24	12.3%	7	3.6%
	問2	相対度数	計算	128	65.6%	1	0.5%	55	28.2%	11	5.6%
	問3	ヒストグラム比較	選択	123	63.1%		0.0%	56	28.7%	16	8.2%
		ヒストグラム比較	記述	59	30.3%		0.0%	108	55.4%	28	14.4%
問4	平均値・範囲・中央値	選択	24	12.3%	35	17.9%	132	67.7%	4	2.1%	
問題3	問1	小数の計算	計算選択	144	73.8%		0.0%	51	26.2%		0.0%
	問2	不等式	選択	114	58.5%		0.0%	80	41.0%	1	0.5%
	問3	一次方程式の利用	立式	35	17.9%		0.0%	108	55.4%	52	26.7%
	問4	連立方程式の立式と解	記述	14	7.2%	33	16.9%	56	28.7%	92	47.2%
問題4	問1	比例定数の決定	計算	143	73.3%		0.0%	41	21.0%	11	5.6%
	問2	直線の方程式	計算	123	63.1%		0.0%	39	20.0%	33	16.9%
	問3	面積が等しくなる説明	記述	31	15.9%	34	17.4%	86	44.1%	44	22.6%
	問4	面積が等しくなる座標決定	計算	2	1.0%	3	1.5%	46	23.6%	144	73.8%
問題5	問1	三平方の定理	計算	129	66.2%	7	3.6%	50	25.6%	9	4.6%
	問2	円錐最短距離	計算	22	11.3%		0.0%	106	54.4%	67	34.4%
	問3	(1) 作図（内接円）	作図	87	44.6%	16	8.2%	29	14.9%	63	32.3%
		(2) 内接円の半径・三平方の定理	計算	15	7.7%		0.0%	88	45.1%	92	47.2%
		球の体積	計算	5	2.6%		0.0%	68	34.9%	122	62.6%

平成30年度 鳥取県高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【理科】 (答案数：195)

問題番号	内容	出題形式	正解	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率		
問題1	問1	顕微鏡レンズ	選択 記号選択	144	73.8%	0	0.0%	51	26.2%	0	0.0%	
	問2	植物のからだ	記述 語句	171	87.7%	0	0.0%	23	11.8%	1	0.5%	
	問3	(1)	気孔の数	記述 説明	150	76.9%	4	2.1%	36	18.5%	5	2.6%
		(2)	水の減少量	記述 計算	85	43.6%	0	0.0%	101	51.8%	9	4.6%
問4	グラフの読み取り	選択 記号選択	167	85.6%	0	0.0%	28	14.4%	0	0.0%		
問題2	問1	電気分解装置	選択 記号選択	102	52.3%	0	0.0%	92	47.2%	1	0.5%	
	問2	濃度の計算	記述 計算	55	28.2%	0	0.0%	119	61.0%	21	10.8%	
	問3	化学反応式	記述 化学式等	61	31.3%	5	2.6%	109	55.9%	20	10.3%	
	問4	水素の発生方法	選択 記号選択	123	63.1%	0	0.0%	72	36.9%	0	0.0%	
	問5	塩素の性質	記述 説明	91	46.7%	4	2.1%	70	35.9%	30	15.4%	
問題3	問1	音の伝わり方	選択 記号選択	124	63.6%	0	0.0%	71	36.4%	0	0.0%	
	問2	音の速さの計算	記述 計算	71	36.4%	0	0.0%	115	59.0%	9	4.6%	
	問3	音の高さの条件	選択 記号選択	163	83.6%	0	0.0%	32	16.4%	0	0.0%	
	問4	振動数の計算	記述 計算	72	36.9%	0	0.0%	100	51.3%	23	11.8%	
	問5	波形の作図	記述 作図	100	51.3%	1	0.5%	92	47.2%	2	1.0%	
問題4	問1	気流と気圧	選択 記号選択	119	61.0%	0	0.0%	76	39.0%	0	0.0%	
	問2	温度変化のグラフ	選択 記号選択	122	62.6%	0	0.0%	73	37.4%	0	0.0%	
	問3	(1)	シベリア気団	選択 記号選択	140	71.8%	0	0.0%	55	28.2%	0	0.0%
		(2)	雲のでき方	選択 記号選択	139	71.3%	0	0.0%	56	28.7%	0	0.0%
(3)		大雪の理由	記述 説明	29	14.9%	28	14.4%	112	57.4%	26	13.3%	
問題5	問1	誘導電流	記述 語句	144	73.8%	0	0.0%	43	22.1%	8	4.1%	
	問2	電流の向き	選択 記号選択	98	50.3%	0	0.0%	96	49.2%	1	0.5%	
	問3	電流の計算	記述 計算	163	83.6%	0	0.0%	26	13.3%	6	3.1%	
	問4	電気抵抗の計算	記述 計算	115	59.0%	0	0.0%	73	37.4%	7	3.6%	
	問5	エネルギーの変換効率	選択 記号選択	149	76.4%	0	0.0%	46	23.6%	0	0.0%	
問題6	問1	(1)	栄養生殖	記述 語句	74	37.9%	0	0.0%	95	48.7%	26	13.3%
		(2)	無性生殖の例	選択 記号選択	167	85.6%	0	0.0%	28	14.4%	0	0.0%
	問2	有性生殖の特徴を説明	記述 説明	110	56.4%	6	3.1%	68	34.9%	11	5.6%	
	問3	(1)	無性生殖の遺伝子の組み合わせ	選択 記号選択	127	65.1%	0	0.0%	68	34.9%	0	0.0%
(2)		有性生殖の遺伝子の組み合わせ	記述 その他	140	71.8%	0	0.0%	51	26.2%	4	2.1%	
問題7	問1	(1)	有機物に含まれる原子	記述 化学式等	109	55.9%	0	0.0%	80	41.0%	6	3.1%
		(2)	溶媒	記述 語句	133	68.2%	0	0.0%	56	28.7%	6	3.1%
		(3)	かたくり粉	記述 語句	47	24.1%	0	0.0%	136	69.7%	12	6.2%
			砂糖	記述 語句	81	41.5%	0	0.0%	102	52.3%	12	6.2%
	問2	B	物質を区別する実験方法	選択 記号選択	11	5.6%	24	12.3%	156	80.0%	4	2.1%
問題8	問1	月の形	選択 記号選択	140	71.8%	0	0.0%	54	27.7%	1	0.5%	
	問2	コロナ	記述 語句	154	79.0%	0	0.0%	32	16.4%	9	4.6%	
	問3	地球と月の距離	記述 計算	89	45.6%	0	0.0%	73	37.4%	33	16.9%	
	問4	金環日食の時の地球と月の距離	記述 説明	103	52.8%	0	0.0%	78	40.0%	14	7.2%	
	問5	月食のしくみ	選択 記号選択	102	52.3%	0	0.0%	91	46.7%	2	1.0%	

平成30年度鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【英語】（答案数：195）

問題番号	内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率		
問題1	問1	No. 1	短文の聞き取り (イラスト選択)	記号選択	145	74.4%	0	0.0%	49	25.1%	1	0.5%
		No. 2	短文の聞き取り (イラスト選択)	記号選択	168	86.2%	0	0.0%	27	13.8%	0	0.0%
		No. 3	短文の聞き取り (イラスト選択)	記号選択	162	83.1%	0	0.0%	33	16.9%	0	0.0%
	問2	No. 1	対話の聞き取り	記号選択	91	46.7%	0	0.0%	103	52.8%	1	0.5%
		No. 2	対話の聞き取り	記号選択	111	56.9%	0	0.0%	84	43.1%	0	0.0%
	問3	(1)	まとまりのある説明の聞き取り	語句補充	135	69.2%	0	0.0%	57	29.2%	3	1.5%
		(2)	まとまりのある説明の聞き取り	語句補充	105	53.8%	0	0.0%	85	43.6%	5	2.6%
		(3)	まとまりのある説明の聞き取り	語句補充	98	50.3%	0	0.0%	96	49.2%	1	0.5%
	問4	Ques. 1	まとまりのある対話の聞き取り	記号選択	161	82.6%	0	0.0%	34	17.4%	0	0.0%
		Ques. 2	まとまりのある対話の聞き取り	記号選択	88	45.1%	0	0.0%	107	54.9%	0	0.0%
Ques. 3		まとまりのある対話の聞き取り	記号選択	82	42.1%	0	0.0%	113	57.9%	0	0.0%	
問題2	問1	No. 1	対話文中の単語補充	単語補充	94	48.2%	0	0.0%	93	47.7%	8	4.1%
		No. 2	対話文中の単語補充	単語補充	129	66.2%	0	0.0%	59	30.3%	7	3.6%
		No. 3	対話文中の単語補充	単語補充	136	69.7%	0	0.0%	50	25.6%	9	4.6%
	問2	No. 1	対話文中の語句整序作文	語句整序	118	60.5%	0	0.0%	77	39.5%	0	0.0%
No. 2		対話文中の語句整序作文	語句整序	87	44.6%	1	0.5%	105	53.8%	2	1.0%	
問題3	問1	No. 1	対話文完成 (英文記述)	英文記述	115	59.0%	12	6.2%	54	27.7%	14	7.2%
		No. 2	対話文完成 (英文記述)	英文記述	95	48.7%	28	14.4%	54	27.7%	18	9.2%
	問2		テーマ英作文 (経験や思い出)	テーマ英作文	35	17.9%	188	96.4%	36	18.5%	45	23.1%
問題4	問1	・内容把握 (日本文記述)	日本文記述	106	54.4%	44	22.6%	26	13.3%	19	9.7%	
	問2	・内容把握 (数値 (西暦) 記述)	西暦記述	76	39.0%	0	0.0%	116	59.5%	3	1.5%	
	問3	・内容把握 (英文による空所補充)	英文記述	61	31.3%	40	20.5%	59	30.3%	35	17.9%	
	問4	・内容把握 (英文選択)	記号選択	99	50.8%	0	0.0%	95	48.7%	1	0.5%	
	問5	・グラフ読み取り (英文選択)	記号選択	132	67.7%	0	0.0%	62	31.8%	1	0.5%	
	問6	・主旨理解 (英文選択)	記号選択	131	67.2%	0	0.0%	63	32.3%	1	0.5%	
問題5	問1	・内容把握 (日本語句選択)	記号選択	123	63.1%	0	0.0%	72	36.9%	0	0.0%	
	問2	・内容把握 (英語句選択)	記号選択	143	73.3%	0	0.0%	52	26.7%	0	0.0%	
	問3	・内容把握 (単語補充)	単語補充	54	27.7%	8	4.1%	118	60.5%	15	7.7%	
	問4	・内容把握 (英文選択)	記号選択	133	68.2%	0	0.0%	57	29.2%	5	2.6%	
	問5	・内容把握 (日本文記述)	日本文記述	31	15.9%	46	23.6%	69	35.4%	49	25.1%	
	問6	・主旨理解 (単語補充)	単語補充	62	31.8%	8	4.1%	103	52.8%	22	11.3%	